

羽ばたけ!羽島っ子 2月号

いちき串木野市立羽島小学校
公式ブログ好評配信中 <http://hashima.synapse-blog.jp/hashimasyo>



導入されたタブレット型PC

能力を引き出す新しい道具

校長 西村 喜一

人類が誕生したのは、今からおよそ700万年前と言われています。アフリカが人類誕生の地とされており、そこから全世界に広がり、今では世界の人口は75億人を突破しています。一方私たちの日本は、人口減少の時代に入りました。年齢構成も少子高齢化が進み、雇用や年金制度の見直しが余儀なくされています。このままいけば、日本の人口は、100年後に現在の半数になるとの予測も。今の子供たちやその次の世代の人々の苦勞が推し量られます。

さて、このように人類が繁栄してきた背景には、ほかの動物との大きな違いがあります。もちろん二足歩行に進化し、脳が発達したことは言うまでもありませんが、最も重要な役割を果たしてきたのが、人類が発明してきたあらゆる「道具」に他なりません。火をもった類人猿を見て「ほうら、歴史が始まった。」というセリフが印象に残るCMがありますが、人間は火を道具として扱い、様々なことを可能にできました。他にも、石器や土器の発明、製鉄技術の進歩、作物栽培に伴う農機具の発明などなど、人類繁栄には「道具」の発明や進化が欠かせない要素でした。さらに、産業革命における「蒸気機関の発明」も、然りです。

今年、学校に新たな道具(学用品)として、55台のタブレットが導入されました。毎月ICT支援員(パソコンや情報教育を支援する方)が来校しますが、早速、支援員の方から操作方法を学びました。子供たちは、学んだことをどんどん吸収していきます。先生方も、授業への活用方法について、熱心に聞いていました。まだまだ手探りの状態ですが、やる気は満々です。

ところで、この1人1台のタブレット導入に対して、こんな意見を聞くことがあります。「小学生のうち、鉛筆やノートを使って、手で文字を書くことのほうが先(大事)でしょ!」確かに、鉛筆を使ってノートに文字を書くことも大切な学習です。幼い時期に、積み木や折り紙、あやとりなどをたくさんすると、自分の思い通りに指先を動かせるようになり、脳がよく発達すると言われますので、それらを保育に取り入れている幼児施設も多いです。私も初めの頃は「メディア依存が問題となっている最中に、1人1台は大丈夫なのだろうか?特に低学年は、タブレットの前に必要なことがあるのでは?」と考えてしまいました。

ある本に「文字や書物が最先端だった時代、プラトンの描くソクラテスが、文字や書物を批判している場面がある。『文字を学ぶと忘れっぽくなる。書物ばかりを読んでいると、知者となる代わりに、知者であるといううぬぼればかりが育つ。』」と書かれていました。文字や書物に対する今の認識とは、大分違う感じがします。その後こう続きます。「新興のテクノロジーには警戒せよと、ソクラテスは忠告しているのだ。」まるで今のネット社会への懸念と重なっているようにも感じます。その本には、こんなことも書かれていました。「コンピュータを使うことはあまりにも簡単になってしまった。生まれたばかりの赤ちゃんですら、スマホを手に取り動画を再生して楽しんでいる。ある計算機科学者が『コンピュータは、洗練されたテレビになってしまった。』と嘆いている。」と。コンピュータは、新しい時代の紙や鉛筆にならなければならないのに、単に動画や会話を楽しむための道具としてしか使われていないということを憂いているようです。

コンピュータを単なる娯楽の道具ではなく、新しいことを創造するための道具として活用し、子供の思考力・判断力・表現力を養うことが大切です。また、プログラミング教育では、プログラミング的思考、つまり論理的に物事を考えられる力を身に付けることが目的です。

人間の力を引き出す大きな可能性が期待できる最先端の道具を、紙や鉛筆のように自由に使いこなせるようになるにはやや時間が必要ですが、使うことに躊躇せず、まずは子供たちと一緒に最先端の道具を積極的に使ってみて、これからの時代に必要な資質・能力を身に付けさせられるよう、教員一体となって、みんなで学んでいきたいです。



プログラミング学習の様子

新1年生の体験学習

2月2日に来年度入学する新1年生8名の体験学習が行われました。現1年生が読み聞かせをしたり、ランドセルを貸してあげたりとすっかりお兄さん、お姉さんとなって、優しく丁寧に教えていました。新1年生のみんなもとても楽しく学べたようで、校内の施設を見て回る時にはとてもリラックスし、自分らしさを発揮しながらの見学でした。



昔遊び体験~教えてもらったよ~

1・2年生の生活科の学習「昔の遊びをしよう」に地域の高齢者クラブの方々に来ていただき、駒や凧揚げ、竹馬、お手玉など様々な遊びを教えてもらいました。「できたー!」とうれしそうな歓声がたくさん聞こえていました。子供たちにとっては初めての遊びなどもあり、高齢者クラブの方々の手取足取り親切に教えていただき、本当に楽しい学習になりました。



吹雪も思い出! 宿泊学習

2月17日・18日の2日間、5・6年生は南薩少年自然の家で宿泊学習を行いました。日常生活と違うリズムで、自然の家での約束を守りながら、集団での生活を体験しました。その中で「10分前行動・5分前集合完了」「次に使う人のことを考える」「明るいあいさつ」など学校生活でも考えなければならない大切なことを学んできました。1泊2日寝食を共にした5・6年生はさらに絆が深まったようです。残念ながら、雪と暴風に見舞われた2日間でしたので、予定していた活動ができませんでしたが、天候も含めて大変思い出深い宿泊学習になりました。



舟唄を体験しました

3・4年生の総合的な学習で羽島の「太郎太郎祭り」で行う舟唄を体験させていただきました。保存会の平石英明さんに指導していただきながら、玉絞りの柄の手ぬぐいをかぶり、「ヤースヨイ!」と大きな声をかけながら笹竹の船を運びました。実際には1か月間しか唄ってはいけない決まりがあることや旧暦の2月1日に開催することなど、歴史ある羽島の祭り「太郎太郎祭り」について、実際に体験することを通して深く学ぶことができました。3月21日に行われる「太郎太郎祭り」への興味・関心を高めました。



3月行事



2日(火) 学校参観日・学級PTA	21日(日) 太郎太郎祭り
5日(金) お別れ遠足	24日(水) 卒業式
13日(土) 土曜授業	25日(木) 修了式
17日(水) 卒業式予行	26日(金) 離任式